

vol.92

2016年6月号

公益財団法人国際障害者年記念 ナイスハート基金

〒105-0022 東京都港区海岸 1-4-26 ゆうらいふセンター

電話：03-3434-2170 FAX：03-5401-0681

URL:<http://www.niceheart.or.jp/>



なほはあと



ふれあいの広場 in 熊本 熊本菊陽学園様にて

表紙／写真 ふれあいの広場 in 熊本	1
寄稿／ふれあいのスポーツ広場須賀川大会を開催して	
木村 孝幸さん（自動車総連福島地協議長）.....	2
寄稿／ふれあいのスポーツ広場におけるユニバーサルレクリエーション	
仙台大学障害者スポーツサポート研究部 Co-Act. 顧問 佐藤 一樹さん...	3
報告／ふれあいのスポーツ広場上半期開催報告	5
報告／ふれあいの広場 in 熊本	6
お知らせ／賛助会員御礼他	8



ふれあいのスポーツ広場 須賀川大会を開催して

木村 孝幸 さん
自動車総連福島地協議長



2016年6月4日（土曜日）に、福島県で第13回目となる「ナイスハートふれあいのスポーツ広場 須賀川大会」を須賀川市アリーナで開催致しました。今回の大会には13施設、施設スタッフ、保護者の方々を含め306人の参加を頂きました。又、自動車総連実行委員のメンバー104人とリピーターから、新規実行委員と11労連の仲間達が集まり、お迎えしました。

福島県は、東日本大震災から5年の月日が経ちましたが、まだ仮設住宅が立ち並ぶ風景が各地域に残っており、完全に復興できた状態には、ほど遠いと言ったところだと思います。そんな中でも、毎年、楽しみに参加して頂いている施設からお話しでは、“施設でイベントを企画するのは、非常に困難な事が多い。単独では出来ない。毎年このスポーツ広場を



ふれあいのスポーツ広場須賀川大会の様子

開催して頂くことに感謝したい”と切実な感謝のお言葉を頂きました事に実行委員一同、心より喜んでいきます。またやりがいを感じています。私は、福島地協議長になり、初めてのスポーツ広場となりますが、単組時代にも継続して実行委員の一人として大会に携わっています。

毎年思うことは、スポーツを通して、参加者全員がひとつになり、結ばれていく、「仲間」、「勇気」、そして「絆」が生まれること。我々自動車総連福島地協としても“相手”に喜んで・感謝して頂ける活動を目指して進めてまいりたいと思います。最後に、開催に当たり福島まで来て頂いたナイスハート事務局、タレントの皆さん、そして総連本部、ボランティアスタッフとして参加頂いた実行委員の皆様には、心から感謝申し上げます。



ふれあいのスポーツ広場須賀川大会の様子

ふれあいのスポーツ広場における ユニバーサルレクリエーション



仙台大学障害者スポーツサポート研究部 Co-Act.
顧問 佐藤 一樹さん

仙台大学障害者スポーツサポート研究部 Co-Act.（コアクト）では、障害の有無にとらわれず老若男女皆でスポーツやレクリエーションを楽しもう！と1998年（平成10年）に発足しました。発足以来主に宮城県南部～仙台市を中心に主に地域の方々を対象とした活動をしてきましたが、平成20年からふれあいのスポーツ広場のお手伝いをするようになり、震災後の平成23年から現在のユニバーサルレクリエーションとして指導するようになりました。

開始当初は、300名を超える参加者にレクリエーションを実施するためには、どのような種目を行ったらよいか、学生はもちろん



グーパー体操

OBやOGの卒業生の意見を聞き、何度もリハールを重ね、何とか形になりました。

現在行っている内容は、①「あとだしじゃんけん」食後一息ついたところにじゃんけん「勝つ」「負ける」といった動作を加えることで、少しずつゲーム感覚への興味が強くなっていく内容です。

②「グーパー体操」グー・チョキ・パーの三種類の後出しじゃんけんからグー・パーの2種類に減った体操ですが、リズムに合わせて交互に出す運動はリズムと上半身運動、時には笑いが出る一面もあります。しかし何と言ってもこの時に会場内に響きわたる「ヨイショ!!」は、会場全体が盛り上がる一つの掛



あとだしじゃんけん

ふれあいの 広場事業



巨大オセロ

け声となっております。

ようやく体も動き始めたころには、③「ご当地ゲーム」が始まります。みなさんがお住まいの各都道府県には、必ずその土地の「名産」や「観光スポット」「地域を代表する有名な名所」があります。学生はその土地の名産を探すことで、少しずつ参加者の皆さんと打ちとけ、楽しむことを共感できるキーワードを必死に見つけ出します。簡単な歌と踊りを繰り返すことで、会場内は参加者とスタッフが混ざりあう状態になります。最後は体育館に大きな足踏みの音が鳴り響きます。

休憩を挟んだ後は④「ジャンボールリレー」です。このふわふわ軽い黄色いボールをナイスチーム・ハートチームが必死に送る姿は、

大きく手を上げたり、ジャンプすることで全身運動につながります。

最後は、⑤「巨大オセロ」です。体育館中にちりばめられた赤と白のオセロは、ひっくり返っては裏返し、またひっくり返り…を繰り返します。あまりにも真ん中のオセロばかりに気を取られ、つい足元のオセロを見落としてしまうという現象もおきできます。

このように、たくさん動いて汗をかいた後の皆さんの表情はキラキラと輝いています。最後は疲れた表情を見せながらも「楽しかったよ!」「また来てね!」という声を聞くと「また来ます!」「次会った時もまた笑顔で楽しみましょうね!」と自然とハイタッチをしてしまいます。学生は大人数の前でゲームを進行する機会はありませんが、このふれあいのスポーツ広場を通じ、多くの経験をさせてもらっています。

今後も身近な道具で簡単に手軽に楽しめるユニバーサルレクリエーションの勉強に励み、楽しさを会場全体で共感できる活動を目指していきたいと思えます。



ジャンボールリレー



ふれあいのスポーツ広場

上半期開催報告



平成 28 年度のふれあいのスポーツ広場について開催報告を致します。上半期は 21 府県での開催となりました。自動車総連の皆様の多大な尽力のもと、ご参加頂いた多くの方々にとって心に残る大会となりましたことを切に願っております。なお、下半期の開催日程は次号に掲載する予定です。

No.	開催地	日程	会場	参加者数
1	宮城（仙台）	4月16日（土）	元気フィールド仙台	463
2	宮崎（宮崎）	4月18日（月）	宮崎県体育館	524
3	群馬（高崎）	4月23日（土）	ニューサンピア高崎	252
4	岡山（倉敷）	5月14日（土）	倉敷市水島緑地福田公園体育館	394
5	石川（金沢）	5月16日（月）	いしかわ総合スポーツセンター	774
6	富山（富山）	5月21日（土）	富山市八尾スポーツアリーナ	461
7	広島（広島）	5月21日（土）	広島市東区スポーツセンター	651
8	岩手（盛岡）	5月23日（月）	盛岡体育館	439
9	香川（善通寺）	5月25日（水）	善通寺市民体育館	446
10	長野（須坂）	5月28日（土）	須坂市北部体育館	313
11	栃木（宇都宮）	5月28日（土）	宇都宮市清原体育館	447
12	鹿児島（鹿児島）	5月30日（月）	鹿児島市民体育館	410
13	福島（須賀川）	6月4日（土）	須賀川アリーナ	410
14	茨城（古河）	6月4日（土）	古河市中央運動公園総合体育館	568
15	福岡（北九州）	6月6日（月）	北九州市立総合体育館	472
16	愛媛（東温）	6月8日（水）	ツインドーム重信	533
17	岐阜（関）	6月8日（水）	わかくさ・プラザ	357
18	京都（京都）	6月12日（日）	京都市障害者スポーツセンター	342
19	山口（防府）	6月12日（日）	ソルトアリーナ防府	508
20	山梨（甲府）	6月13日（月）	小瀬スポーツ公園	278
21	兵庫（加古川）	6月15日（水）	加古川市立日岡山体育館	434
上半期合計				9,476



ふれあいの広場 in 熊本

平成28年6月20日(月)～22日(水)



この度の「熊本地震」において亡くなられた被害者の方には衷心より哀悼の意を捧げます。さらに被害を受けられた皆さま、近隣地域にお住いの多くの皆さまに心よりお見舞い申し上げます。また被災地におかれましては一日でも早い復旧、復興をできますことを重ねてお祈り申し上げます。

今回の被災地訪問は、東日本大震災の時の福島支援学校の皆様方以来の訪問となります。何が出来るかを思案するよりも、真っ先に当基金が日頃お世話になっているふれあいのスポーツ広場の熊本県内の施設の方々、そして被災地出身のふれあいのスポーツ広場の関係者の方々と何か出来ることはないか、と考へ、即座にこの企画を開催すべく、行動に移しました。

「こんにちわ!!!, OO施設です」とても快活な声を受話器から聞こえてきました。5月下旬、最初に熊本県の施設にその企画のお話しをさせて頂いた電話の第一声でした。その第一声は、今回の訪問を占っており



MC ふじ健介さん



落語 三遊亭好太郎さん

ました。

初日の6月20日。緊張よりも柔和な雰囲気会場を包んでいました。司会で漫談家のふじ健介さんの朗らかな声で、場全体がさらに和みます。そして自動車総連熊本地協今村議長の挨拶でこの「ふれあいの広場 in 熊本」が名実ともにスタートしました。

トップバッターの落語家三遊亭好太郎さんは、子供たちの視線が泳ぎだす中、とびっきりの笑顔で定位置の座布団に向かいます。ものまねで参加者をリラックスさせてから、得意の小話を熊本弁を交えながら、披露されました。

三味線片手に椅子に向かうのは歌手の江島ちあきさん。熊本ゆかりの民謡「おてもやん」で地元をアピールしながら、なじみ深い北海道の民謡「ソーラン節」や山形の民謡「花笠音頭」で参加者を虜にしました。手拍子で盛り上げて頂く方や、一緒になって踊る方もいれば、演奏中に握手を求める方もいて、祭り



体操 / エアロビック 大村詠一さん

のような雰囲気となりました。

演技の合間には、司会のふじ健介さんが漫談家らしく子供たちを愛情たっぷりに茶化します。

最後に登場したのが、エアロビック競技選手の大村詠一さん。爽やかな笑顔、軽快なステップ、透き通る声に続いて、参加者全員が「えい、えい、おー!!!」の連呼、連呼。

終わりに記念撮影をして、瞬く間に衣装を着替えて次の訪問地へと向かう出演者たち。そんな風にして1日2施設、3日で6施設を訪問させて頂くことが出来ました。

参加者が大人の方だったり支援学校の方だったり、個別の施設の事情が種々異なっても、共通して言えることは、「訪問させていただいて良かったな」と思える瞬間の連続だったことでした。職員の方々のお出迎えから、会場の準備、お見送りまで、あり余る歓待とともに、1時間という短い最中に参加者をととても身近に感じる事が出来たことは今後につながるのではないかと感じました。

短い期間の中でこの企画に携わって頂きました自動車総連熊本地協今村議長、ふじ健介さん、三遊亭好太郎さん、江島ちあきさん、大村詠一さん、ご訪問させて頂いた各施設の皆様方には深く御礼申し上げます。



体操 / エアロビック

【スケジュール】

6月20日(月)

10:45 第二大江学園さま(参加者52名)

14:00 すみれ園さま(お見舞い訪問のみ)

6月21日(火)

9:30 障がい者サポートホームわらびさま
(参加者32名)

15:00 若草児童学園さま(参加者35名)

6月22日(水)

9:30 愛育学園さま(参加者56名)

13:30 熊本菊陽学園さま(参加者160名)



民謡 江島ちあきさん

【1日目のプログラム】

※プログラムの内容は共通です。

司会：ふじ健介

11:00 開会

11:02 自動車総連熊本地協今村議長ご挨拶(初日のみ)

11:05 ①落語 三遊亭好太郎

11:20 MC ふじ健介

11:22 ②民謡 江島ちあき

11:42 MC ふじ健介

11:45 ③体操 / エアロビック 大村詠一

12:00 握手会 / 写真撮影

12:05 閉会

ナイスハートなご支援をありがとうございました

当基金が事業を行うための運営資金として、寄付金と賛助会員の会費が重要です。より多くの方々が趣旨をご理解いただき、ご厚志を賜りますようお願い申し上げます。

■賛助会員年会費 1口1万円

3月から6月までの間にご厚志をいただいたみなさま（順不同）



【賛助会員】

ワークセンター栗の木様、（特非）ハートスポーツ様、戸井田和彦様、（福）多度津さくら会ふれあいの家様、赤羽治彦様、（特非）ワークステージ矢田ステーション様、中西八朗様、こぶしの家様、（福）創樹会様、（福）貴桃会たんぼぼ作業所様、（有）ビジネスネットワーク様、（特非）がんばろう会様、（福）たちばな会かがやきの丘様、あさひの丘様、（株）コミュニティライフプロモーションズ様、（株）イケハタ企画様、倅多ひろみ様、（福）徳誠福祉会徳誠園様、（福）たちばな会第一たちばな学園様、鈴木廣子様、八風・マーヤの園様、京都手をつなぐ育成会西京支部様、（福）パン・ド・パンウインドヒル様、合田雅一様、（福）残波かりゆし会就労支援センターういず様、（福）明和会セサミ・ファーム様、松阪市手をつなぐ育成会障害者生活介護事業所ほほえみ様、（特非）ハートフルふきあげ様、（福）滑川珠美園様、石川幸雄様、（福）さざんか会のまる様、鹿目敦子様、（株）レクスポ様、（特非）サンサンいわた様、京都手をつなぐ育成会右京支部様、（福）自然の森エスポール様、（福）七草会風ととくべえ様、（福）ナザレの村かすがの里様、（福）ナザレの村あじさい様、（特非）翠の家様、（特非）えびの福祉作業所様、（株）全国儀式サービス様、（福）泉

学園障がい者デイセンターさくら様、（福）本庄ひまわり福祉会様、きつつき共同作業所様、（福）美谷会 美谷の風様、（福）美谷会 美谷の里様、（社）たんぼぼの家様、しののめ作業所様、（福）フォーレスト八尾会おわらの里様、（特非）自立支援センター歩歩路様、澗口良一様、（福）ひろびろ福祉会様、軽石義則様、（特非）すばる すばる作業所様、岩武毅様、（特非）幸せの魔法つ会あいとぴあ様、有村和子様、（公社）日本エアロビック連盟指導部様、つくし園様、袴成光様、（福）大樹大樹児島作業所様、（福）大樹大樹洲崎作業所様、林芳久仁様、（特非）まーる工房様、（福）さやか様、（特非）知的障害者のくらしを考える会様、（学）仙台育英学園様、（福）宗像会くすの木園様、（株）夢のみずうみ社夢のみずうみ村デイサービスセンター様、宮田学園様、（福）福角会いつきの里様、齊藤信之様

【寄附金】

奥川貴弥様、（特非）オープンハウス・クローバー様、地域活動支援センターぼのぼの作業所様、（特非）きづき様、心促福祉作業センター様、（特非）たんぼぼハウス様、（特非）なないろ様、松本和子様、高良明枚様、（株）スマイルリフォーム様、（特非）フレンズ様

当基金新役員のご紹介

平成24年4月1日より公益財団法人として新たなスタートしてから4年。役員任期満了に伴い、6月16日付の評議員会において選任された、当基金の役員についてご紹介をいたします。

代表理事 瀬田公和（重任）

業務執行理事 山口 明（新任）

理事 植木きよみ、小島迪彦、鈴木廣子、野口昇兵、
吉川かおり、吉武申二（重任）

監事 赤羽治彦、江成 清（重任）

評議員 今西康二、近藤清美（新任）

川下明子、島貫 啓、鈴木 望、田口 茂、
早川雅人、古川秀満（重任）